

やすおか ときめきの里 コンサート

2025

9/21 日

開場／14:30 開演／15:00

会場／泰阜村総合体育館(役場隣り)

【入場料】2,000円

小学生以下無料

自由席

【お問い合わせ先】

ときめきの里コンサート実行委員会事務局

TEL:0260-26-2750(長野県泰阜村教育委員会内)

※コンサート会場での写真撮影はご遠慮ください。

※駐車は体育館・役場・グラウンドの駐車場をご利用ください。

Geila Zilkha & Ayumu Yahaba featuring Shunji Takenaka

SOLO-DUO

我那覇 美奈

鹿児島県奄美大島出身。

1998年16歳でデビュー。代表曲は『TEARS ～時間の中で…』、熱闘甲子園2002年テーマソング『終わらない夏』、映画「あずみ」主題歌『ねがい』、初めて故郷をテーマにつくったエバーグリーンな名曲『月の雫』、中外製薬・疾患啓発キャンペーンソング『With A Wish』など。

浜田省吾のプロジェクト“Fairlife”とのコラボレートや井上陽水ツアーのコーラス、現在は湘南・茅ヶ崎に拠点を移し、地元コミュニティFMのラジオパーソナリティーとして生放送を担当するなど、活動は多岐にわたる。

さらに194号奄美観光大使として奄美関連の活動やイベントも精力的に行っている。

ソロヴォーカリストとして活躍するギラ・ジルカと矢幅歩による男女デュエットのユニット【SOLO-DUO】が抜群のコンビネーションを聴かせる。

SOLO-DUOの結成15周年を記念して2023年11月22日に4枚目の新作“BURRITO”をリリース。本公演では、本作のサウンドプロデューサーを手がける鬼才ギタリスト 竹中俊二をフィーチャーして、ジャズにリスタイルされた名曲の数々をミニマムかつダイナミックな温かいサウンドでおおくりします。

ギラ・ジルカはイスラエル人の父と日本人の母の元に生まれ、神戸で生まれ育ち、アメリカ、バークリー音楽大学を卒業。ジャズからR&B、ポップスまで圧倒的な歌唱力で歌いこなす唯一無二のヴォーカリストであり、MISIAをはじめ多くのミュージシャンとの共演でも注目を浴びている。

矢幅歩は学生時代にアメリカとスペインに留学。上智大学外国語学部に入学後、ジャズをルーツに独自のスタイルで活動を展開してきた。アカペラグループ「鱧人-HamojiN-」やバンド「tozambu」など、ジャンルの垣根を越え幅広く活躍している。また、数々のアーティストサポートやスタジオワークにも参加してきた。

【竹中俊二】

ギタリスト/アレンジャー/コンポーザー/サウンドプロデューサー/サウンドクリエイター/エンジニア

7才からクラシックピアノを、10才から兄の影響でギターを始める。家業がジャズ喫茶を営む、ジャズ、ブルース、ロック、R&Bの洗礼をうけ音楽に興味を持つ。ジャズを潮先郁男氏、クラシックギターを平木勝津夫氏に師事。活動は様々なジャンルの多くのアーティストのアレンジ、楽曲提供、レコーディング、ライブなど各方面に及ぶ。

